



いのうしやうがっこう
稲生小学校だより

稲生っ子

【めざす学校像】

あいさつが響き合い
笑顔いっぱい
思いやりにあふれる

令和4年6月20日 NO.10



ひなんくんれん 避難訓練

6/10(金), 火災発生時の避難訓練を実施しました。災害は、いつ起こるかわかりません。煙による事故を防ぐため、ハンカチで鼻や口を覆い、運動場に避難しました。みんな落ち着いて行動できました。

どんなときにも、状況に合わせて行動することが、自分の命、周りの人の命を守るにつながります。普段から責任ある行動を心がけましょう。

こうしゃ なか
校舎の中では

おさない



はしらない



しゃべらない



もどらない



ていがかねんゆうせん



そとで
外へ出たら

さわがない

かける(はしる)

ならぶ



3年生 交通安全教室～自転車の正しい乗り方～

6/9(木), 鈴鹿市交通防犯課, 交通指導員の方々に
お越しいただき, 「交通安全教室」を開催しました。

ヘルメットの正しいかぶり方, 自転車を発進させる

ときや止まるときの注意(右足ペダル, 左足
着地), 交差点での一旦停止の確認などを学
びました。自転車に乗るときは, 安全運転を心

かけましょう。



みぎ ひだり うし みぎ
右よし・左よし・後ろよし・右よし

とまって よくみて たしかめて
いのちをたいせつにしましょう。





ねんせい 6年生 お茶の学習

6/2(木), 6/3(金), 6/10(金), 6年生が、
鈴鹿市農林水産課の方々のご協力を得て、本校の
山田栄養教諭から「お茶」について楽しく学びました。
一人に1つずつ、お盆、急須、湯飲み茶わん、茶葉を



用意していただき、実際にお茶を淹れる体験をしました。

一煎目は、いったん湯を冷ましてから注ぐことで、甘味
の強い味わいになること、二煎目は、熱いお湯を注ぐこ

とで苦みや渋みを味わえることを体感しました。初めて、急須に触れる
子がたくさんいて、良い経験になりました。



6/11(土) 伊勢新聞記事

【鈴鹿】鈴鹿市稲生三丁目の市立稲生小学校（溝口忍校長）で十日、六年生を対象にしたお茶の入れ方を学ぶ体験授業があり、児童が急須を使って入れた

山田教諭（右）からお茶の入れ方を学ぶ児童ら。鈴鹿市稲生三丁目の市立稲生小で

特産かぶせ茶の入れ方学ぶ 鈴鹿・稲生小で体験授業

鈴鹿のかぶせ茶を飲んだ。家庭科の授業の一環で、市の特産品のかぶせ茶について学ぶのが狙い。六月二日からクラス単位で実施してきた。

この日は最終日で、B組とC組が実施。急須や湯飲みは一人一セットずつ市から借り、茶葉の提供も受けた。

B組では三十二人の児童が、山田真由美教諭（左）から「入れる温度によって味が変わる」「熱湯より、冷ましたお湯の方が甘みが出る」などと指導を受けた。児童らは、ポットの湯をいったん湯飲みに入れてから、急須に移して湯温を調節し、一煎目と二煎目の味の違いを飲み比べた。

正田淳成さん（こ）は「一煎目は苦みの後に甘みが広がり、二煎目は少し甘みはあったが苦みが強くなった」と話していた。

鈴鹿山麓で栽培するかぶせ茶は、全国有数の生産量を誇る。

